

国民年金からのお知らせ

口座振替による前納が大変お得です

お申し込みは2月末までに

国民年金保険料を口座振替で前納(納期未到来分をまとめて納付)すると、保険料の割引があります。

平成30年4月分から、保険料の2年前納、1年前納、6ヶ月前納のいずれかを希望される場合、または、振替方法の変更を希望される場合は、平成30年2月末までに手続きが必要です。

手続きは、国民年金保険料口座振替納付(変更)申出書、金融機関の届出印、通帳をご持参の上、口座振替を希望する金融機関(ゆうちよ銀行を含む)、日本年金機構草津年金事務所でお願います。なお、口座振替の手数料は不要です。

現在、口座振替を利用されており、これまでに前納の手続きをされた方は、引き続き決められた期日に前納分が口座振替されます。

参考:口座振替を利用した場合の保険料額【平成29年度(1ヶ月16,490円)の場合】

	振替内容	保険料	割引額
2年前納	4月分から翌々年3月分の保険料を4月末に振替	378,320円/2年	15,640円(2年)
1年前納	4月分から翌年3月分の保険料を4月末に振替	193,730円/1年	4,150円(1年)
6ヶ月前納	4月分から9月分の保険料を4月末に、10月分から翌年3月分の保険料を10月末に振替	97,820円/6か月	1,120円(6か月)
早割制度	毎月の保険料を当月末に振替	16,440円/1か月	50円(1か月)
翌月振替	毎月の保険料を翌月末に振替	16,490円/1か月	割引なし

問い合わせ先◆草津年金事務所 ☎077-567-2220(国民年金課)・住民課 保険年金担当 ☎0748-52-6571

日野町高齢者福祉計画・

介護保険事業計画(第7期)(素案)

住民説明会を開催します

高齢者福祉計画・介護保険事業計画(以下「事業計画」という)は、高齢者に関する施策や介護保険の総合的な計画として、3年ごとに策定するもので、現在、平成30年度から平成32年度の第7期の事業計画を策定しています。

第7期事業計画では、高齢者人口の自然増、介護給付費の実績などによる3年間の介護サービス見込み量の推計により、第1号被保険者(65歳以上)の介護保険料の額を改定するとともに、団塊の世代の方が75歳以上になれる2025年(平成37年)を見据え、高齢者の方が、可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられる取り組みを進めます。

下記の日程で説明会を開催しますので、皆様のご参加をお願いします。

期 日	開催時間	会 場
2月14日(水)	午後 2:00~ 3:30	日野公民館
2月15日(木)	午前10:00~11:30	東桜谷公民館
	午後 2:00~ 3:30	西桜谷公民館
2月16日(金)	午前10:00~11:30	南比都佐公民館
	午後 2:00~ 3:30	鎌掛公民館
2月18日(日)	午後 2:00~ 3:30	日野町林業センター
2月20日(火)	午前10:00~11:30	必佐公民館
	午後 2:00~ 3:30	西大路公民館

問い合わせ先 ◆長寿福祉課 高齢者福祉介護担当 ☎0748-52-6501

日野町におられる医師・歯科医師・薬剤師などの方々から町民の皆さんへ
医療や公衆衛生の面からアドバイスいただくシリーズです

子どもの目の健康を育てる

よこた眼科クリニック 医師 横田 順子よこた じゆんこさん

生まれたばかりの赤ちゃんは、どれくらいものが見えてい

るかご存知でしょうか。明るい
か暗いか程度しか分からない
と言われています。赤ちゃんの
目は、すでにお母さんの胎内
にいる30週ほどでほぼ完全な
形にできあがり、光を感じる
機能がありますが、十分に働
くようになるためには、生ま
れた後の外界からのいろいろ
な刺激が必要です。例えば、お
母さんのおっぱいをさがす、天
気のいい日には外に出て青空
を見たり、小さなアリを指さ
して見せたり、「いないいない
ばあ」をしてみたり、洋菓子屋
さんに並んでいる色とりどりの
ケーキを見たり等々です。

また、「両親はもとより、子
どもを取り巻く周囲の愛情も
子どもの見ることの発達には
とても大切です。ただし、愛情
が圧力となったり、反対に不足
したりで子どもがストレスを
感じるようになると構造上は
目が正常でも、視力や視野等
の機能にトラブルが起こり、そ
の後見ることの成長を妨げる

ことなる場合もあるので、バ
ランスが大切です。

そろそろ歩きはじめたり、
パパ、ママ、ワンワンなどと話
し出す満1歳のお誕生日を迎
えるころになると、子どもの視
力は、0.3くらいになり、両眼
視機能や立体視機能が発達し
はじめます。子どもの見ること
の発達で最も重要な時期は
3歳までです。そこで最後に目
の異常の発見のために、①目
を細めて絵本やテレビを見て
いる②異常に顔を近づけても
のを見ようと③横目で本
やテレビを見ようと④絵
本等を見ることが根気がない
⑤絵本や物・人を間違える⑥
黒目がどちらかへ寄る⑦首を
傾けてものを見ようと⑧等
のサインを見逃さないでくだ
さい。「家族の方のちよつとし
た注意で大切な子どもの目の
成長を守ってあげましょう」。



よこた眼科クリニック 日野町松尾1189番地 ☎0748-52-1341

感雑向綿

2018年2月

日野町長 藤澤直広

今年(明治維新から150年)の年です。明治維新は、欧米列強の開国要求を受けて幕藩体制のもとで領土が土地と領民を「支配」する中世封建社会から近世資本主義社会へかわる転換点でした。今年のNHK大河ドラマは、西郷隆盛を描いた「西郷どん」。西郷は、薩摩の下級武士の出身でありながら明治維新をリードし「錦の御旗」を掲げる「官軍」のリーダーとなり戊辰戦争を指揮しました。しかし、西南の役(明治10年)で「賊軍」として敗れ自決し「内戦」が終わります。波乱万丈の人生です。明治政府は「殖産興業」「富国強兵」をスローガンに欧米列強に追いつこうとしました。明治憲法の制定、産業の発展、大正デモクラシーと歴史は進みました。

一方で戦争をする国へ。日清戦争(明治27年)、日露戦争(明治37年)、第一次世界大戦(大正3年)、シベリア出兵(大正7年)、満州事変(昭和6年)、支那事変(昭和12年)、太平洋戦争(昭和16年)。軍国主義国家へ突き進み太平洋戦争争敗戦(昭和20年)を迎え

した。日本は明治以降70数年の間に7回の戦争(事変)に参加しましたが敗戦を転換点として軍国主義国家から民主主義国家へ生まれ変わり国際社会に復帰し経済発展を遂げました。戦後70数年、平和憲法のもとで一度も戦争に参加していません。

次の転換点は、3・11東日本大震災(平成23年)ではないでしょうか。大地震と津波によって原子力発電所は破壊され、放射能汚染が広がり、今も処理の見通しはたつていません。自然の力の大きさと科学の力で制御しきれない原子力の脅威を思い知らされました。科学と経済の発展は目覚ましいものがありますが万能ではありません。自然の力に畏怖の念をもつて謙虚に向かい合い共生することの大切さに気がされました。

150年前、「西郷どん」は、貧しい農民のために年貢制度の改善を直訴したそうです。誰もが幸せになる社会、戦争のない平和な社会、自然と共生する社会を築くために力を合わせましょう。